

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372202024
事業所名	グループホームやまと桜館

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会長はホームの良き理解者として、地域との橋渡しの協力を得ている。法人の夏祭りへの地域の参加と運営協力、子供会の訪問を受ける利用者の楽しみの交流など、地域との関わりは良好である。	○
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年6回開催の運営推進会議には、利用者、家族、地域、行政の参加を得ている。会議はパソコンを使い、編集した写真などを見せ、支援の「見える化」を図っている。参加者の情報提供、意見交換もあり、実践に反映させている。	○
重点項目 ③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	行政は運営推進会議に毎回出席し、制度説明や助言を行い、協力する関係にある。市の主催する同業事業者の施設部会の研修には職員が参加している。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族はホームを頻りに訪問し、利用者との時間を過ごしている。その際には職員から利用者の様子を伝えて意見を確認し、同時に利用者が家族に話す思いを家族から聴き取り、実践に反映するよう努めている。	○
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。